

市の委託から一年

京都市犯罪被害者総合相談窓口を委託され一年が経過した。平成 23 年度は京都犯罪被害者支援センターとして大きな節目の年であった。

京都市との連携が始まったことにより、これまで以上に京都府、京都府警察とも連携を深め広報啓発活動など共に取り組んだことが特筆される。「犯罪被害者週間」におけるパネル展示や街頭啓発、学校・PTAなどと連携した研修会や講演会などに参加した。10 月には「生命のメッセージ展」と映画「ゼロからの風」上映を行い、2 月の第 12 回犯罪被害者支援京都フォーラムは、初めて京都市と共催で実施し多くの来場者があった。

支援件数については、電話相談が全体で 640 件、他の女性相談窓口も増設された年でもあり「飛躍的に増加」したとは言えないまでも、京都市民からの電話相談は、全体の件数の 42%にものぼった。内容的には、どこにも持っていきようもない日常の中での被害感情を当センター窓口を持ってこられることも多くあった。これは当センターの守秘義務に信頼を持っていただけなことと思う。勿論、市の条例に基づく生活資金給付に至る重大な事件の相談もあった。生活資金の給付は 2 件、外国人のための通訳派遣はのべ 2 件、当センターから京都市こころの健康増進センターへの紹介は 6 件であった。

平成 10 年から始まった電話相談は、今立ち止まって考えてみると当初と明らかにその内容は変化してい

る。初期の段階では、被害者は犯罪の事実、その内容について相談をしてこられた。次第々にその心情を述べられることが多くなっていき、身体ごとぶつかってこられる感覚を相談員は全身で受け止めている。

直接支援は、440 件であった。そのうち京都市民についての支援は、227 件で全体の 52%であった。犯罪の種類は、女性に対する性犯罪関連が実に 52%を占めている。また、特に目立ったのは殺人で、40%を占めた。これは例年にない事であった。その他、暴行傷害、交通事故関連と続いている。支援の中身は、裁判の傍聴付添や代理傍聴等、裁判に関するものが多く占めるが、23 年度は、特に他の府県と連携を計り、共に支援に携わり得難い経験をした。それぞれのセンターの特徴が、地域性を保ちながら共通の目的のために働き、強い連帯感を持てたと思う。

面接は 206 件であった。いわゆる情報提供（教示を含む）や電話相談から直接支援につながったもの、また他機関から依頼のあった事案等について最初にインテーク面接を行う。その上でカウンセリングや、法律相談につながったもの等々である。

身体的な重い犯罪被害にあつて、専門家や他の機関に関わりながらも当センターでの面接を重ねながら自分自身の問題を整理されている様子が浮かび上がってくる。改めて「被害者が日常を取り戻すまで」寄り添い、共に歩む努力を重ねていきたいと願う。

●●● 支援活動状況 ●●●

(平成 23 年度：平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談	フリーダイヤル	31	27	42	21	40	35	35	48	29	21	29	62	420
	451 - 7830	19	36	29	16	26	8	17	14	8	11	19	17	220
	電話相談合計	50	63	71	37	66	43	52	62	37	32	48	79	640
面接相談	面接相談	22 (10)	23 (12)	24 (13)	15 (6)	13 (6)	25 (13)	19 (6)	13 (5)	13 (5)	13 (6)	13 (4)	13 (7)	206 (93)
	内カウンセリング	16	11	16	11	5	10	7	3	3	5	3	8	98
直接支援		48 (28)	30 (22)	47 (33)	33 (14)	19 (13)	21 (15)	38 (30)	34 (23)	38 (16)	42 (20)	40 (9)	50 (23)	440 (246)

() 数字は警察からの情報提供分



平成24年5月26日、京都平安ホテルにて、平成24年度定時社員総会が開催され、平成23年度事業報告、平成23年度収支決算報告及び監査報告が審議され承認されました。

平成23年度事業報告（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

相談事業	電話相談 239件 075-451-7830 220件、0120-60-7830 420件 面接相談 206件 内カウンセリング 98件、警察からの情報提供分 93件
直接支援事業	440件 内、警察からの情報提供分 246件 警察からの情報提供件数 23件（累計 104件）
広報啓発事業	<p>会報32号、33号、34号の発行／ミニカレンダー作成 ホームページ8回更新、アクセス：5275件／年 KBS京都テレビ番組出演（条例施行、京都市犯罪被害者総合相談窓口の周知） 第12回犯罪被害者支援京都フォーラムの開催 日時：平成24年2月4日 13：30～16：00 場所：京都平安ホテル1階「平安」の間 主催：（公社）京都犯罪被害者支援センター、京都市 後援：京都府、京都府警察本部、京都弁護士会、京都府犯罪被害者支援連絡協議会 内容：基調講演「市民にとっての犯罪被害者支援」 平井紀夫 全国被害者支援ネットワーク副理事長 （公社）京都犯罪被害者支援センター副理事長</p> <p>パネルディスカッション： ＜パネリスト＞ 犯罪被害者遺族、大塚照美京都府警察本部警務課犯罪被害者支援室 室長補佐、樋掛実喜雄京都市文化市民局くらし安全推進課長 ＜コーディネーター＞川本哲郎（公社）京都犯罪被害者支援センター理事、 京都産業大学大学院法務研究科教授</p> <p>街頭活動 チラシ等配布 11月（世界道路交通犠牲者の日）、TAV交通死被害者の会・京都府警察との協働、 11月、12月京都府・京都市・京都府警察との協働 犯罪被害者週間におけるパネル展示（京都府・京都市・京都府警察との協働） 日時：平成23年11月24日～12月22日 場所：京都市役所、NHK京都、ゼスト御池、烏丸御池駅 内容：パネル展示、ポスター掲出、リーフレット等啓発物、龍谷大学附属平安高校生徒による「一行詩」の作品展示、「いのちを考える教室」紹介展示</p>
調査研究及び研修事業	<p>月例研修会 4月傷害事件の相談について／5月京都市業務委託の実際／6月事例検討（京都市犯罪被害者総合相談窓口の相談）・精神障害者犯罪による被害者支援／7月京都府家庭支援総合センターの業務について・施設見学／9月ボランティア活動に望むこと／10月ロールプレイ研修／11月直接支援について・裁判所施設見学／12月、1月事前研修の講座から受講／2月東日本大震災の支援体験について</p> <p>期別研修会（13期生） 4月電話相談について／5月電話相談についてⅡ／6月電話相談についてⅢ／7月電話相談についてⅣ／8月電話相談から直接支援へ／10月ロールプレイについて</p> <p>新規ボランティアの募集及び事前研修会 11月上旬から1ヶ月間、新聞等を通じ募集し面接の上、研修を開始した。12/3～1/14</p> <p>オリエンテーション、京都犯罪被害者支援センターについて／被害者支援の歴史と現状／警察の被害者支援／刑事手続きと被害者支援に関わる法律／検察官の業務と被害者支援／女性に対する犯罪／被害者支援における電話相談／被害者支援に携わる人々の問題／交通事故と被害者／被害を受けた人の心理／被害者の声を聴く／行政との連携／閉講式</p> <p>ロールプレイ 6/27（12期生）10/31、11/12、11/19（13期生）</p> <p>講師派遣 京都拘置所14回、京都家庭裁判所 自転車盗：11回・バイク盗：4回 京都刑務所3回、浪速少年院8/2、京都医療少年院3/6、京都市こころの健康増進センター研修5/19、5/27、上京犯罪被害者支援連絡協議会9/9、検察庁司法修習生研修10/12、弁護士会司法修習生研修10/14、京都府警察学校研修11/17、ワタキューセイモア株式会社研修6/28、DV被害者サポーター養成講座7/30、国民のつどい石川大会11/21、市町村との連携による府民講座等11/23（宮津）、京田辺市社会福祉協議会12/12、PTA右京南支部人権研修会12/13、亀岡市議員団研修会1/26、いの</p>



調査研究 及 研修事業	ちを考える教室（塔南高校）2/22、京都府による市町村担当者研修2/28（福知山）、醍醐支所全体研修会3/8、9、他府県の支援センター：紀の国7/2、岡山9/3、奈良12/2、みえ2/9 司法研修生の受入れ 9/20～10/7（司法修習生1名） 電話相談用ハンドブック作成	平成23年度収支計算書 平成23年4月1日～平成24年3月31日	
	会議等	定時社員総会 平成23年5月21日 平成22年度事業報告、収支決算及び監査報告 理事会 計6回 運営委員会 計10回	科目 決算
全国被害者 支援ネット ワーク	ベーシックプロジェクトによる直接支援の研修生受け入れのため、ぎふ犯罪被害者支援センターから裁判傍聴見学 6/14、15 近畿ブロック研修会（おうみ担当）7/16、17 9名参加 東京開催：フォーラム及び秋期全国研修 9/30、10/1、2 2名参加 近畿ブロック研修会（紀の国担当）2/18、19 4名参加 選挙管理委員会 2/28、総会 3/16	I 収入の部	
	京都府・ 京都市関連	京都府犯罪被害者支援連絡協議会 通常総会6/7、少年被害者対策研究分科会2/7、性犯罪被害者対策研究分科会2/14、交通事故被害者対策研究分科会2/29 0（ゼロ）からの風上映&生命のメッセージ展 日時：平成23年10月16日 10：00～16：00 場所：京都テルサ 主催：京都府、京都市、京都府警察本部、特定非営利活動法人いのちのミュージアム、（公社）京都犯罪被害者支援センター、京都府犯罪被害者支援連絡協議会 内容：生命のメッセージ展、映画「0（ゼロ）からの風」上映 鈴木共子氏講演 生命のメッセージ展代表 特定非営利活動法人いのちのミュージアム代表理事 府民相談相互連絡ネットワーク会議 5/26 京都市生活安全施策懇話会 8/10 女性のための相談ネットワーク会議 7/19、2/21 配偶者等からの暴力に関するネットワーク会議 9/12、11/1 ヒューマンステージ・イン・キョウト 2011 10/15 京都ヒューマンフェスタ 2011 10/16 左京子どもふれあいカーニバル 11/12 京都府ドメスティックバイオレンス被害者地域生活サポーター養成座 11/12、11/19、12/3、12/10、12/17 京都市PTA フェスティバル 11/26 京都府内の相談機関等に係る担当職員研修会 2/8 生命のメッセージ展（洛北中学校）3/7	1 会費収入 3,855,000 正会員会費収入 1,200,000 賛助会員会費収入 2,655,000 2 補助金等収入 9,231,001 京都府補助金 2,401,001 京都市委託金 6,800,000 久御山町補助金 30,000 3 寄付金収入 2,191,939 4 雑収入 562,560 5 基本財産受取利息 1,524,348 6 受取利息 797 当期収入合計（A） 17,365,645 前期繰越収支差額 1,119,132 収入合計（B） 18,484,777
その他行事	12期生認定式 7/23 なら犯罪被害者支援センター10周年記念式典 10/5 京都府警察の立入検査 3/15 京都弁護士会との意見交換会 3/22	II 支出の部	
	訪問	京都府警察支援担当者、京都弁護士会、亀岡市議会議員、藤田産業株式会社、みえ犯罪被害者総合支援センター支援員	1 事業費 12,730,554 相談事業費 4,453,447 給料手当 2,251,460 諸謝金 717,515 旅費交通費・通信運搬費 1,248,348 施設使用料 236,124 直接支援事業費 1,349,883 給料手当 1,187,460 旅費交通費・通信運搬費 162,423 広報啓発事業費 3,245,326 諸謝金 432,000 旅費交通費・通信運搬費 398,320 広報啓発費 2,199,702 消耗品費 25,447 施設使用料 141,185 会議費 48,672 調査研究及び研修事業費 758,483 諸謝金 264,000 旅費交通費 163,330 消耗品費 4,349 施設使用料 326,804 共通事業費 2,923,415 給料手当 1,455,030 旅費交通費・通信運搬費 278,878 備品費・消耗品費・図書費 653,097 施設使用料 138,537 保険料・負担金 119,815 法定福利費 278,058 2 管理費 5,629,007 給料手当 2,061,650 旅費交通費・通信運搬費・手数料 517,450 法定福利費 367,427 備品費・消耗品費 449,822 施設使用料・光熱水費 694,129 会議費 35,251 雑費 283,700 事務所移転費用 1,219,578 3 基本財産繰入支出 0 当期支出合計（C） 18,359,561 当期収支差額（A）－（C） -993,916 次期繰越収支差額（B）－（C） 125,216



平成24年3月15日の平成23年度第6回理事会で承認され、5月26日開催の定時社員総会で平成24年度事業計画、平成24年度収支予算書が報告されました。その後、6月19日の平成24年度第2回理事会で平成24年度収支予算書の修正案が承認されました。

平成24年度事業計画 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

相談事業	電話相談 犯罪被害者等からの相談を専用電話で受ける。0120-60-7830 犯罪被害者サポートダイヤル 075-451-7830 京都市犯罪被害者総合相談窓口 祝祭日・年末年始を除く月～金 13:00～18:00 面接相談 犯罪被害者等から心理的相談、法律相談等の申し出があり、その必要性が認められたときは、コーディネーターによるインテーク面接を行い、その事情に応じて無料面接相談を実施する。 専門相談 専門的な対応が必要なケースについては、法律相談、心理相談等を行う。
直接支援事業	訪問、傍聴付添、代理傍聴、その他の付添、電話による情報提供・生活支援などの直接支援を実施する。必要により京都府、京都市その他の市町村や他機関と連携を図りながら行う。外国人の相談があれば、通訳対応する。犯罪被害者等給付金の申請補助事業をする。
広報啓発事業	被害者等への理解を深めるとともに、被害者等が相談するきっかけとなり支援に繋がることを目指し、犯罪被害者等の支援に関する広報啓発活動を行う。より効果的な活動のため、京都府、京都市、京都府警察等と連携、協力して活動する。 街頭啓発活動、学校における啓発活動、「犯罪被害者週間」に関連する行事、講演会・シンポジウム等の開催、他機関への講師派遣、会報の発行、ミニカレンダー・リーフレットの制作・配布、ホームページ運用、ボランティア募集。
調査研究及び研修事業	相談および直接支援等の事業活動を充実させるため新規のボランティアを採用し、事前研修会を実施する。また、被害者等にとっての必要な支援のあり方を把握し当センターの資質向上を図るための調査研究活動等を行うとともに、相談、直接支援等に関する知識や技能向上を図るため、ボランティアに対する研修会等を開催する。月例研修会、事例検討会、ロールプレイ、見学実習、ハンドブックの改訂など。
会議等	定時社員総会、臨時社員総会、理事会、運営委員会
その他	全国被害者支援ネットワーク：フォーラム、全国研修会、ブロック研修など 京都府犯罪被害者支援連絡協議会： 総会、対策研究分科会

*平成23年度3月末会員数

正会員	324人	賛助会員	個人	1136人
			団体	66
			法人	44

科目	予算	修正	修正後
I 収入の部			
1 会費収入	5,280,000		5,280,000
正会員会費収入	1,305,000		1,305,000
賛助会員会費収入	3,975,000		3,975,000
2 補助金等収入	10,330,000		10,330,000
京都府補助金	3,500,000		3,500,000
京都市委託金	6,800,000		6,800,000
久御山町補助金	30,000		30,000
3 利息収入	734,000		734,000
4 寄付金収入	3,700,000	-1,542,000	2,158,000
当期収入合計 (A)	20,044,000	-1,542,000	18,502,000
II 支出の部			
1 事業費	14,782,615	-686,615	14,096,000
相談事業費	5,990,000	-510,000	5,480,000
給料手当	2,460,000	-753,000	1,707,000
諸謝金	1,010,000	220,000	1,230,000
旅費交通費・通信運搬費	2,140,000	25,000	2,165,000
施設使用料	380,000	-2,000	378,000
直接支援事業費	1,670,000	-829,000	841,000
給料手当	1,260,000	-753,000	507,000
旅費交通費・通信運搬費	410,000	-76,000	334,000
広報啓発事業費	2,980,000	-389,000	2,591,000
諸謝金	315,000	-122,000	193,000
旅費交通費・通信運搬費	420,000	-70,000	350,000
広報啓発費	1,925,000	-182,000	1,743,000
消耗品費	10,000		10,000
施設使用料	220,000	-15,000	205,000
会議費	90,000		90,000
調査研究及び研修事業費	965,000	-72,000	893,000
諸謝金	320,000		320,000
旅費交通費	240,000	-70,000	170,000
消耗品費	5,000		5,000
施設使用料	400,000	-2,000	398,000
共通事業費	3,177,615	1,113,385	4,291,000
給料手当	1,515,000	1,041,000	2,556,000
旅費交通費・通信運搬費	345,000	160,000	505,000
備品費・消耗品費・図書費	725,000	-28,000	697,000
施設使用料	130,000	-30,000	100,000
保険料・負担金	120,000		120,000
法定福利費	330,000	-30,000	300,000
減価償却費	12,615	385	13,000
2 管理費	5,261,385	-855,385	4,406,000
給料手当	2,040,000	-673,000	1,367,000
旅費交通費・通信運搬費・手数料	451,000	-80,000	371,000
法定福利費	430,000	-30,000	400,000
備品費・消耗品費	340,000	-55,000	285,000
施設使用料・光熱水費	1,180,000	8,000	1,188,000
会議費	40,385	-15,385	25,000
雑費	280,000	-10,000	270,000
事務所移転費用	500,000		500,000
当期支出合計 (B)	20,044,000	-1,542,000	18,502,000
当期収支差額 (A) - (B)	0	0	0



わかりやすい刑罰のはなし

永田憲史（関西大学法学部准教授）
関西大学出版部



次々発生する大事件に、どのような罪名が付き判決がくだされるのか、その刑罰について、最近、特に人々の関心が集まっている。市民として、ましてや被害者支援に携わる者として「それが知りたかった」ともいべき案内書として本書が上梓された。

著書は「できるだけ多くの人に刑罰の中身を知ってもらうために、刑罰がどのようなことに気を付けながら、どのように使われ運用されているのか」を4章から成り立つ基本的な問題から、普段あまり考え及ばない詳細な点にまでも詳しく判りやすい言葉で説明されている。例えば、罰金を払わなかったらどうなるのか、服役中の出産、子育て等々問題点を指摘しながら行届いた説明がある。何よりも「裁判の傍聴に行く前に」は、当センター研修のテキストにふさわしいもので是非一読をお薦めしたい。

センターの活動を支援して下さる皆様に心より感謝申し上げます

会費及び寄付を頂いた方々をご報告申し上げます。センターの活動をご支援くださいまして誠にありがとうございます。なお、記載漏れ等がありましたら、お手数ですが事務局までご一報いただきますようお願いいたします。また、お名前の記載を望まれない方は、お申し出ください。

寄附金 <平成24年3月1日～平成24年5月31日> (順不同・敬称略)

株式会社藤田産業 吉忠株式会社 京都産業大学 個人 2名

平成23年度会費納入者 <平成24年3月1日～平成24年3月31日> (順不同・敬称略)

【正会員】

個人 1名

平成24年度会費納入者 <平成24年4月1日～平成24年5月31日> (順不同・敬称略)

【正会員】

個人 24名

【賛助会員個人】

個人 27名

【賛助会員法人】

吉村建設工業株式会社

為国印刷株式会社

株式会社岡村製作所 京都支店



事務局が新体制に

事務局は、4月から新体制になりました。

宮井久美子事務局長（理事）は、3月末で辞任し4月より事務局長に富名腰由美子事務局長補佐が就任しました。同時に、参事として植田弘氏が着任しました。

宮井久美子理事は、当センター設立時から、事務局長として、理事として、長くその役割を務めてこられました。この度、事務局長を退いた後も、

理事として、またコーディネーターとして、引き続き面接や直接支援等に活躍していただいています。植田弘参事の主な役割は、京都北部地域のセンター開設準備、予算管理、財政基盤の確立のため会員拡大、寄付金集め等です。

新事務局は、事務局長、参事のほか女性3名の計5名体制でスタートし、はや3か月が過ぎました。ようやくなじんだ新しい事務所で、全員フレッシュな気持ちで業務に邁進しています。今後ともよろしくお願いいたします。

..... 事務局日誌

3月	3月23日	代理傍聴、会計指導	5月	5月1日	面接相談
3月2日	3月25日	面接相談	5月2日	5月2日	面接相談
京都府暴力追放運動推進センター評議委員	3月26日	代理傍聴、法律相談付添	5月7日	5月7日	法律相談付添、会計指導
3月5日	3月29日	面接相談	5月10日	5月10日	面接相談
3月6日	3月30日	面接相談	5月11日	5月11日	第2回運営委員会
3月7日	4月		5月14日	5月14日	面接相談2件、会計指導
生命のメッセージ展（洛北中学校）	4月5日	面接相談、クリニック付添	5月15日	5月15日	裁判傍聴
家庭裁判所にて講話	京都拘置所にて講話		5月16日	5月16日	面接相談、月例研修会
3月8日	いのを考える教室（聖母学園中学校・高等学校）		第1回理事会	5月17日	京都拘置所にて講話
3月9日	4月6日	第1回運営委員会	5月18日	5月18日	面接相談
3月10日	4月9日	面接相談2件	5月19日	5月19日	クリニック付添
3月12日	4月11日	面接相談、法律相談付添	5月22日	5月22日	京都家庭裁判所にて講話
3月13日	京都拘置所にて講話		5月23日	5月23日	全国被害者支援ネットワーク新任事務局長・事務局担当者のための研修
3月14日	4月12日	裁判傍聴、会計指導	5月24日	5月24日	全国被害者支援ネットワーク新任事務局長・事務局担当者のための研修
3月15日	4月13日	面接相談2件、検察庁付添	5月25日	5月25日	全国被害者支援ネットワーク総会
3月16日	4月14日	14期生研修会	5月26日	5月26日	伏見区人権啓発推進協議会研修会
3月19日	ボランティア全員ミーティング		5月27日	5月27日	面接相談
3月21日	4月18日	NHKテレビ取材	5月28日	5月28日	クリニック付添、面接相談
3月22日	4月19日	面接相談	5月29日	5月29日	法律相談付添
代理傍聴、京都家庭裁判所にて講話	4月20日	面接相談	5月30日	5月30日	面接相談
京都弁護士会との懇談会	4月22日	面接相談			
	4月24日	代理傍聴			
	東山区役所相談会				
	山科地区更生保護女性会にて講演				
	4月27日	面接相談			

編集後記

◇ほのかに色づく蕾の桜が、やがて満開になるのを見届け、たわわな新緑を窓外に観て今、七月を迎える。
明るくなった電話相談の部屋に、ほっと胸をなでおろし長い間ご苦労をおかけしたとつくづく思う。整ってきた環境の中で経済的な困窮は続くが、少しでも良い支援ができるよう次の季節に向かって日々を大切に刻んでいる。

.....
 ・ お願い 住所変更された方は、お手数ですが事務局までご一報下さいますようお願い致します。
 ・
 ・
 ・

ホームページもご覧下さい

<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kvsc7830/>

発行所 公益社団法人京都犯罪被害者支援センター
 事務局 TEL & FAX 075-415-3008
 E-mail kvsc7830@mbox.kyoto-inet.or.jp
 印刷 為国印刷株式会社